

面会方法の変更について

5月8日(月)より新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症へ変更されたことに伴い、当院で実施しておりました「オンライン面会」が廃止となり「対面面会」に変更となりました。面会の重要性和院内感染対策の両方に留意した上で、患者さま及び面会者の交流の機会を可能な範囲で緩和いたします。面会者は無症状者に限り、1回2名さままで15分以内とし、患者さまと面会者共にマスク着用といたします。

☆面会のお申込み方法☆

受付時間 月曜日から金曜日 9時から16時まで
面会時間 月曜日から土曜日 14時から16時まで



ご希望の方は、「事前予約制」となっておりますので、**面会日前日16時まで**にご連絡ください。
電話番号:0493-56-3191 ※お電話をお掛け頂きましたら『面会予約』とお伝えください。

※地域に於ける感染拡大状況や入院患者さま等の感染状況により面会方法の変更もございます。ご了承ください。

新入職者研修

今年度も新入職員が加わり、新入職者研修が行われました。病院理念や基本方針の基礎的な内容や、安全管理や精神保健福祉法、精神治療学などの医療従事者としての知識や技術を学びました。この研修を通し、病院職員として患者さまやご家族の方、利用いただく皆さまに安全と安心の医療サービスが提供できるよう努めてまいります。

行事食(6/1 開院記念)



赤飯 大根のマヨネーズ和え
甘辛ダレのから揚げ すまし汁
炊き合わせ とろっとプリン

編集後記

この文章を書いている頃は梅雨のまっさかりで、湿気が多く気温の高い、じめじめとした日が続いています。

天気が悪いと気分も沈みがちですが、逆に言えば気分が沈むのは天気のせいなのです！でも早くカラッとした夏になるのが待ち遠しいですね。



広報委員 樋口



医療法人昭友会 埼玉森林病院



埼玉森林病院のホームページ <https://www.kokoro.or.jp/saitama/>

〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉704
TEL0493-56-3191 FAX0493-56-4831



デイケア和～なごみ～の活動

デイケア和～なごみ～は当院外来棟の最上階にあり、室内からの眺望は抜群です。窓から見える景色は1年を通して四季折々の変化があざやかで、とくに春になると様々な花が咲き誇り、若葉の芽生えや鳥のさえずりなども感じられるため、まるで桃源郷かのような気分になります。

「散歩」の活動で病院の周囲を一巡りするだけでも、春の訪れを楽しむことができます。

また、利用者さまと近隣の隠れた花の名所に出掛けて散歩することもあります。写真はその時の様子です。今年も、梅、桃、桜、藤など、春が深まるにつれて変化する様々な花の観賞に出かけることができました。利用者の皆さまからも「きれいだね」「すごいね」などの感想が聞かれ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

季節がまた巡り、次は夏の緑あざやかな風景や、すくすくと育つ田んぼの稲の成長が楽しみになってきます。季節の移ろいを感じながら、利用者の皆さまにこれからも楽しく過ごしていただけるよう努めてまいります。



オレンジカフェなめがわ

毎月第4金曜日の13:00~15:00にオレンジカフェなめがわを開催しています。オレンジカフェとは、「認知症の方とご家族、地域の方や専門職などが気軽に集い交流と活動をする場」です。コロナ禍で人と関わる機会が減少している中、感染対策をした上で交流できる貴重な場所となっています。

オレンジカフェなめがわでは茶話会だけでなく各専門職によるミニ講座もあります。先月は当院作業療法士による「脳を活性化する体操」というテーマでミニ講座を行いました。

次回のオレンジカフェは7月28日(金)に「認知症のお薬について」というテーマで、当院薬剤師が行います。途中参加、途中退席も出来ます。ご興味のある方、お悩みのある方、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(※参加費として100円をいただきます。コーヒー、お茶を用意しております。)

【日程】

7月28日(金)

8月25日(金)

9月22日(金)

【ミニ講座】

認知症のお薬について

上手な栄養の取り方

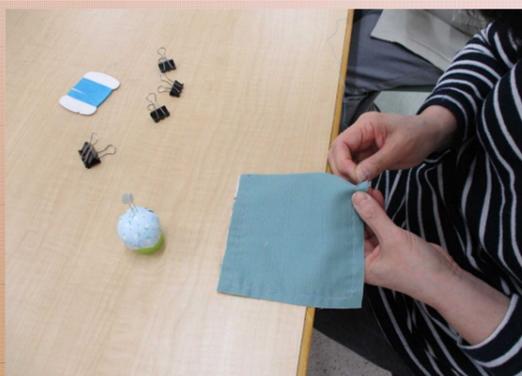
転倒防止体操



リハビリテーション活動紹介

当院ではリハビリテーションプログラムのひとつとして「生活講座」があります。普段はアロマヨガを行っているのですが、今回は「カードケース作り」と題したワークショップを行いました。少人数で行われたこのプログラムに参加された患者さまは、それぞれ好みの生地選びから始まり、縫い合わせ、ボタン付けまで作業療法士によるレクチャーを受けながら1時間程で無事完成させることが出来ました。

完成した作品をICカード入れとして使う他にも、小物入れとして利用される患者さまもおり、ご自身の出来栄に納得されていました。今後も定期的にワークショップを開催していきたいと思っています。



第43回日本精神科看護学術集会

2023年6月2日~3日

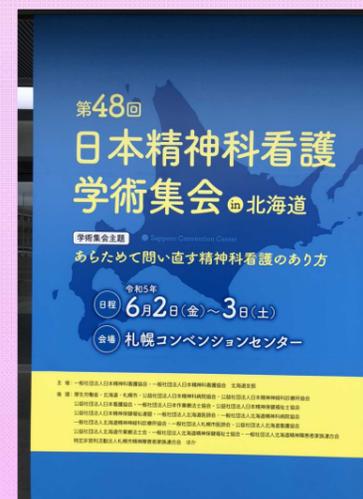
第43回日本精神科看護学術集会が2023年6月2日~3日に北海道で開催されました。今回、精神科看護協会埼玉県支部の推薦を受け、「コロナ禍における精神看護学実習 映像を用いたオリエンテーション」について当院から看護研究発表を行いました。

2020年に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界規模で流行し、感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令されました。医療体制の維持及び感染予防の観点から2020年は多くの病院で臨地実習の受け入れを中止せざるを得ない状態でした。臨地実習の新しい指導方法として大学と協議を重ね、撮影した映像をオリエンテーションで視聴し、Zoomで質疑応答を行いました。看護学生の病院での実習が行えない状況で精神科看護の実際を現場の看護師の声で伝えることができ、学生が看護の実際の仕事をイメージできることに対して有効であったと思っています。

令和5年5月8日以降は、感染症法上の5類感染症への移行に伴い、感染対策の対応も緩和されることが多くなると考えられます。当院としても感染対策の徹底や職員の体調管理などについても引き続き気を付けて業務を行っていく所存であります。看護学生の受け入れ態勢も徐々に緩和されてきていますが、今後も以前のような未曾有の事態が起こらないとも言い切れません。当院としては未来の有望な看護師を育成できるように、また入職希望者が増え、地域の皆さまに更なる手厚い医療を提供できるように、今後も看護学生を受け入れて育成に取り組んでいきたいと思っています。

今回の日本精神科看護学術集会を通して看護研究の多くの発表を聞くことができ、良い刺激を受けることができました。また精神科看護会議、セミナーにも参加し、最新の情報を得て、日々の精神科看護を振り返る場となりました。この学びを通して、地域における医療の発展や入院患者さまへより良い看護が行えるように職員一同尽力してまいります。

B病棟 田巻洋子



上図、会場写真。規定により発表中の写真は無し。